

～ 児童生徒の教育環境の充実を目指して ～

# 鹿沼市小中学校

## 適正配置等基本計画

### 【第2期実施プラン】

〔2019～2021〕

平成31年2月  
鹿沼市教育委員会

# 鹿沼市小中学校適正配置等基本計画第2期実施プラン

## 【第1部】 プランの概要

I	策定の経緯	1
II	鹿沼市の小中学校の現状	
1	児童・生徒数の現状と推移	2
2	学級数の現状と推移	3
III	適正配置等スケジュール	4

【第2部】	第2期実施プラン	5
-------	----------	---

# 【第1部】

## プランの概要

## I 策定の経緯

本市の小中学校適正配置については、近年の少子化の影響で、急激な児童生徒数と学級数の減少に伴い「学校の小規模化」が進行していることから、平成 24 年度にスタートした「鹿沼市教育ビジョン」において、本市における教育基盤の整備のひとつに位置付け検討を進めてきました。

その中で、「鹿沼市小中学校適正配置等検討委員会」から「鹿沼市立小中学校における適正配置等の基本的な考え方」の最終提言を受け、児童生徒にとってより良い教育環境を将来にわたって持続することが可能となるよう平成 28 年度から平成 37 年度（2025 年度）までの 10 年間を計画期間として「鹿沼市小中学校適正配置等基本計画」を策定し、平成 28 年 7 月から取り組んできました。

### ●計画の構成イメージ



第 1 期実施プランの期間において、小学校 3 校を統合し適正配置を進めてきましたが、今後も小中学校の小規模化及び大規模化が継続することから、児童・生徒数や学級数の現状と推移を検証し、平成 31 年度から 33 年度（2021 年度）の 3 年間を第 2 期実施プランの期間として、さらに検討していきます。



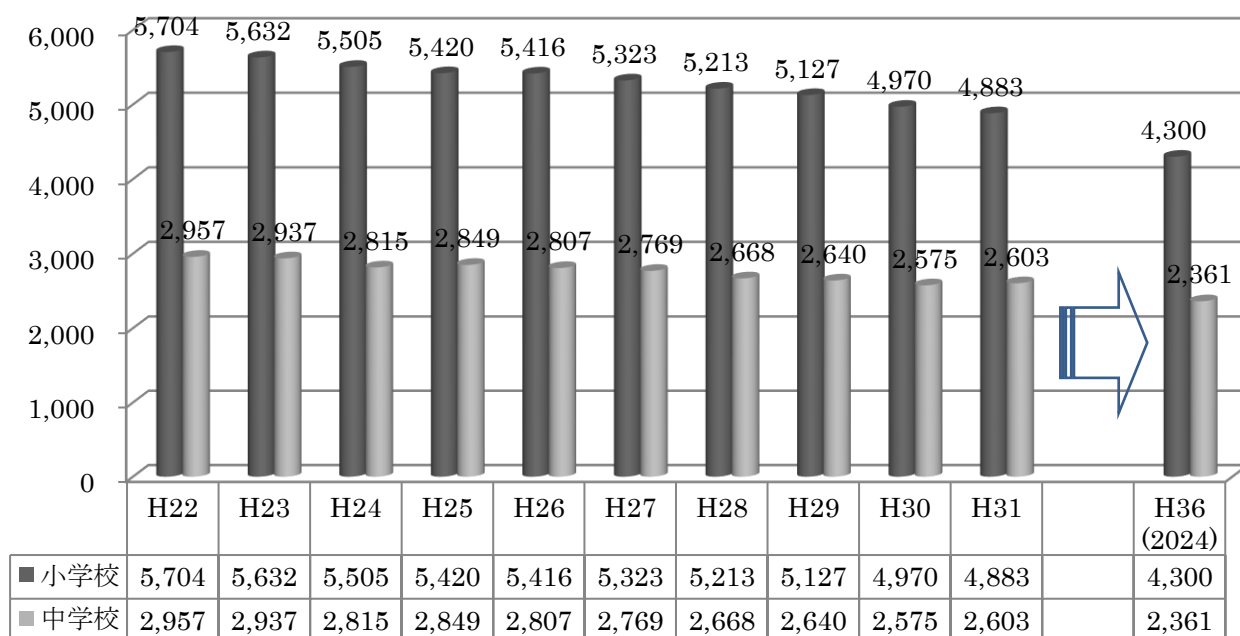
## Ⅱ 鹿沼市の小中学校の現状

### 1 児童・生徒数の現状と推移

本市の現在の小中学校数は、小学校 25 校、中学校 10 校の計 35 校であり、平成 30 年 5 月 1 日現在の小学校児童数は 4,970 人、中学校生徒は 2,575 人で合計 7,545 人となっています。

今後の児童生徒数を推計すると、平成 36 年度（2024 年度）には、小学校児童数は 4,300 人、中学校生徒は 2,361 人合計 6,661 人になるものと予測され、平成 31 年度から 36 年度の減少率は、小学校 11.8%、中学校 9.3%と見込まれます。

### 鹿沼市の児童生徒数の推移



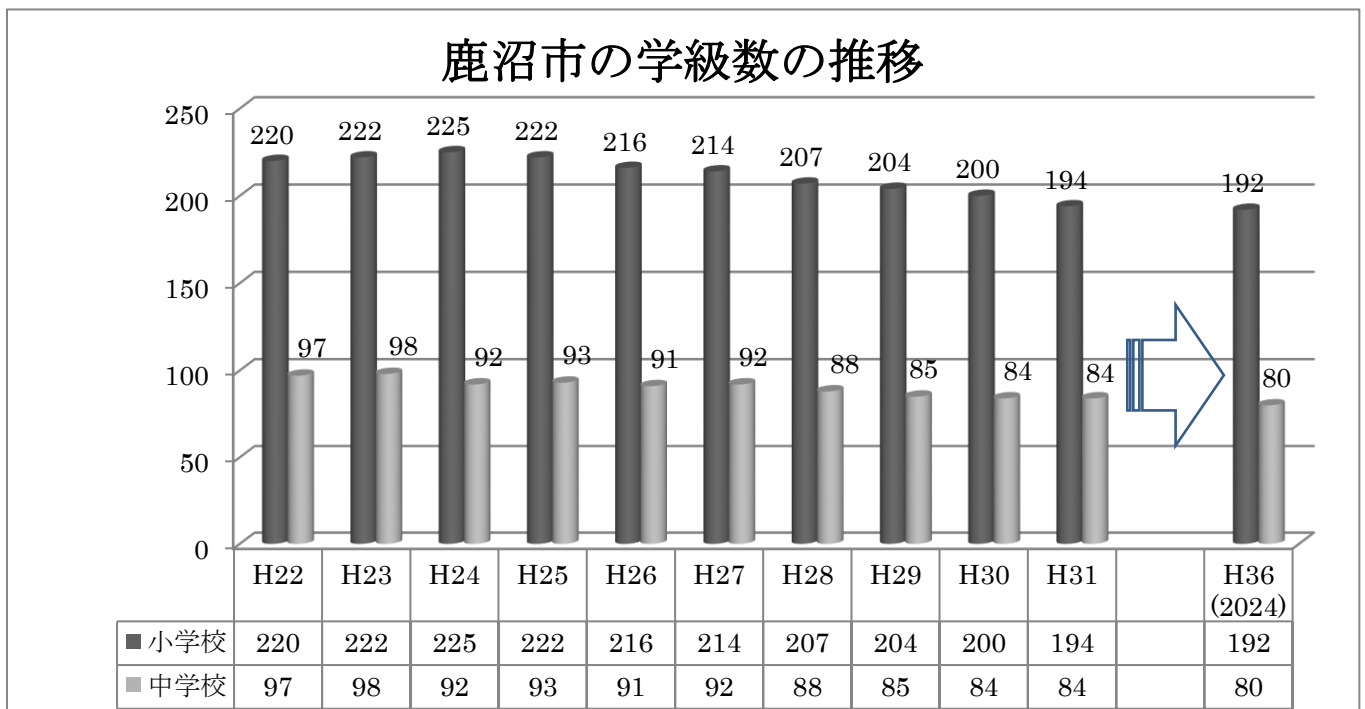
※全児童生徒数（特別支援学級児童生徒数含む）



## 2 学級数の現状と推移

本市の平成30年5月1日現在の特別支援学級を除く普通学級数は、小学校で200学級、中学校で84学級の合計284学級となっており、小学校25校中32%に当たる8校が「複式学級を有する学校」という状況です。

今後の学級数を推計すると、児童生徒数の傾向と同様に、平成36年度（2024年度）には、小学校は192学級、中学校は80学級、合計272学級になるものと予測され、平成31年度から36年度の減少率は、小学校1.0%、中学校4.8%と見込まれます。



※学級数は特別支援学級を除く普通学級数

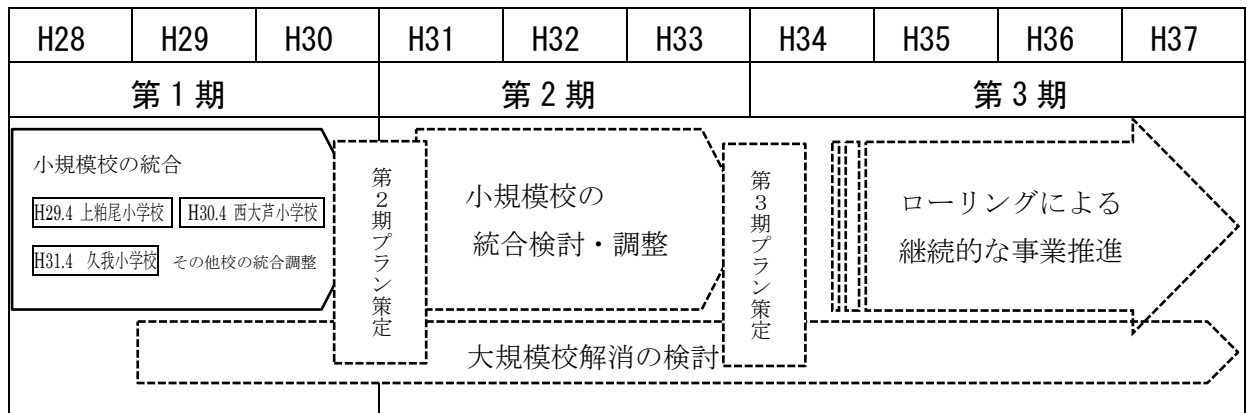
### ◆学級数による学校規模の分類

(H30.5.1 現在)

	小学校	中学校
小規模校	池ノ森小、上南摩小、南押原小 清洲第1小、清洲第2小、永野小、粕尾小、 〔久我小：平成30年度閉校〕	加蘇中、板荷中
適正規模校	中央小、西小、北小、菊沢東小、菊沢西小、 石川小、津田小、さつきが丘小 みどりが丘小、北押原小、加園小、板荷小、 南摩小、楡木小、みなみ小、栗野小	西中、北中、北犬飼中、 北押原中、南摩中、 南押原中、栗野中
大規模校	東小	東中

### Ⅲ 適正配置等スケジュール

#### ●スケジュール



※ 各期の期間については、おおむね3年間を目安とする。

○本計画期間は、平成28年度から30年度までを第1期、31年度から33年（2021）度までを第2期、34（2022）年度～37年（2025）度を第3期として適正配置を図っていきます。

第1期	上粕尾小学校・西大芦小学校・久我小学校の統合 その他校の統合調整、大規模校解消の検討
第2期	池ノ森小学校、上南摩小学校の統合 清洲第1小学校、清洲第2小学校ほか小規模校の統合検討・調整 大規模校解消の検討
第3期	第1期、第2期以外の小規模校の統合検討・調整 大規模校解消の検討

○本市の児童生徒数の将来予測は、今後も減少傾向にあると考え、出生児の推移を十分見極める必要性があり、継続的にその動向等を検証しながら、その中で社会情勢の急激な変化や法令改正等が生じた場合には、適宜計画の見直しを行うものとしてます。

## 【第2部】

# 第2期実施プラン



## 【 上南摩小学校 】

## 1 校区の概要

上南摩地区は鹿沼市の西北部に位置し、旧南摩村北部の山と川と緑の自然に恵まれた南摩川の上流部にあたる。

本校の就学区域は、上南摩町、旭が丘であり、上南摩町の館の越地区に位置する。

(所在地：上南摩町732番地)

近年は、児童数が減少し、複式学級が継続し、本市の中でも小規模な小学校の一つとなっている。

## ○児童数及び学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H26 (2014)	児童数	5	3	9	2	8	1	28
	学級数	1		1		1		3
H27	児童数	2	5	2	9	2	7	27
	学級数	1		1		1		3
H28	児童数	1	2	6	2	9	2	22
	学級数	1		1		1		3
H29	児童数	4	1	2	6	2	9	24
	学級数	1		1		1		3
H30	児童数	1	3	1	2	6	2	15
	学級数	1		1		1		3
H31 (2019)	児童数	2	1	3	1	2	6	15
	学級数	1		1		1		3
H32	児童数	5	2	1	3	1	2	14
	学級数	1		1		1		3
H33	児童数	2	5	2	1	3	1	14
	学級数	1		1		1		3
H34	児童数	5	2	5	2	1	3	18
	学級数	1		1		1		3
H35	児童数	4	5	2	5	2	1	19
	学級数	1	1	1		1		4
H36 (2024)	児童数	1	4	5	2	5	2	19
	学級数	1		1		1		3

※平成30年度までは、各年度とも5月1日現在の実児童数及び学級数

※平成31年度以降は平成30年5月1日現在の住民基本台帳登録人口（年齢別）に基づき社会増減を含めず記載

## 2 適正配置の検討経過

「鹿沼市小中学校適正配置等基本計画」の第1期実施プランが終了し、第2期実施プランを策定するにあたり、保護者及び地域関係者と意見を聴取する場を設定。

⇒ 意見交換会の開催（第1回H29.11.17）

## 3 適正配置の検討

児童数の減少が進み、複式学級となっており、鹿沼市の適正規模を下回っています。今後の児童数の推移を踏まえ、教育上の課題を整理したうえで、慎重な検討と地域との丁寧な対応を持ち、隣接校との統合の適否も含めた今後の在り方を検討します。

## 4 適正配置検討の理由

- ① 平成31年度児童数15人、学級数3（連続した学年ではなく、飛び学年で複式学級を編成する。）という状況であり、今後も児童の増加が見込めないため
- ② 児童の教育条件の改善など、教育環境充実のため
- ③ 学校行事等に関する保護者の負担軽減のため
- ④ 学校運営に支障があるため

## 5 適正配置に関する進め方

○地元・学校（保護者含む）

- ・市教委主催の意見交換会への参加
- ・地域としての考え方の整理・集約

○市教委

- ・適正配置の検討をするための保護者及び地域住民への意見交換会開催
- ・児童数の将来予測等の情報提供
- ・隣接校への状況説明等情報共有

## 【 池ノ森小学校 】

## 1 校区の概要

池ノ森地区は鹿沼市南東部の池ノ森地区に位置し、壬生町に隣接している。

本校の就学区域は、池ノ森であり、池ノ森の山王前地区に位置する。

(所在地：池ノ森757番地1)

近年は、児童数が減少し、複式学級が継続し、小規模な小学校となっている。

## ○児童数及び学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H26 (2014)	児童数	3	3	4	0	1	1	12
	学級数	1		1			1	3
H27	児童数	3	3	3	4	0	1	14
	学級数	1			1		1	3
H28	児童数	3	3	3	3	4	0	16
	学級数	1			1	1		3
H29	児童数	3	3	3	3	3	4	19
	学級数	1			1		1	3
H30	児童数	3	3	3	3	3	3	18
	学級数	1			1		1	3
H31 (2019)	児童数	4	3	3	3	3	3	19
	学級数	1			1		1	3
H32	児童数	4	4	3	3	3	3	20
	学級数	1			1		1	3
H33	児童数	8	4	4	3	3	3	25
	学級数	1	1		1		1	4
H34	児童数	1	8	4	4	3	3	23
	学級数	1	1		1		1	4
H35	児童数	2	1	8	4	4	3	22
	学級数	1			1		1	3
H36 (2024)	児童数	4	2	1	8	4	4	23
	学級数	1			1		1	3

※平成30年度までは、各年度とも5月1日現在の実児童数及び学級数

※平成31年度以降は平成30年5月1日現在の住民基本台帳登録人口（年齢別）に基づき社会増減を含めず記載

## 2 適正配置の検討経過

「鹿沼市小中学校適正配置等基本計画」の第1期実施プランが終了し、第2期実施プランを策定するにあたり、保護者及び地域関係者と意見を聴取する場を設定。

⇒ 意見交換会の開催（第1回 H29.11.24）

## 3 適正配置の検討

児童数の減少が進み、複式学級となっており、鹿沼市の適正規模を下回っています。今後の児童数の推移を踏まえ、教育上の課題を整理したうえで、慎重な検討と地域との丁寧な対応を持ち、隣接校との統合の適否も含めた今後の在り方を検討します。

## 4 適正配置検討の理由

- ① 平成31年度児童数 19人、学級数3（連続した学年ではなく、飛び学年で複式学級を編成する。）という状況であり、今後も複式学級の状況が継続するため
- ② 児童の教育条件の改善など、教育環境充実のため
- ③ 学校行事等に関する保護者の負担軽減のため
- ④ 学校運営に支障があるため

## 5 適正配置に関する進め方

### ○地元・学校（保護者含む）

- ・市教委主催の意見交換会への参加
- ・地域としての考え方の整理・集約

### ○市教委

- ・適正配置の検討をするための保護者及び地域住民への意見交換会開催
- ・児童数の将来予測等の情報提供
- ・隣接校への状況説明等情報共有

## 【 清洲第1小学校 】

## 1 校区の概要

清洲区は鹿沼市の南西部に位置し、自然に恵まれた農村地帯にあり、近くに思川が流れている。

本校の就学区域は、久野、深程であり、久野の下坪地区に位置する。

(所在地：久野620番地1)

近年は、児童数が急激に減少し、複式学級が継続するようになり、小規模な小学校となっている。

## ○児童数及び学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H26 (2014)	児童数	10	5	19	8	15	17	74
	学級数	1	1	1	1	1	1	6
H27	児童数	6	10	5	19	8	14	62
	学級数	1	1	1	1	1	1	6
H28	児童数	5	6	10	5	18	8	52
	学級数	1	1	1	1	1	1	6
H29	児童数	6	4	6	10	5	18	50
	学級数	1		1		1	1	4
H30	児童数	1	6	5	6	10	5	33
	学級数		1		1		1	3
H31 (2019)	児童数	8	1	6	5	6	10	36
	学級数	1		1		1	1	4
H32	児童数	5	8	1	6	5	6	31
	学級数	1	1		1		1	4
H33	児童数	4	5	8	1	6	5	29
	学級数	1	1		1		1	4
H34	児童数	9	4	5	8	1	6	33
	学級数	1		1	1		1	4
H35	児童数	7	9	4	5	8	1	34
	学級数	1	1		1		1	4
H36 (2024)	児童数	6	7	9	4	5	8	39
	学級数	1	1		1		1	4

※平成30年度までは、各年度とも5月1日現在の実児童数及び学級数

※平成31年度以降は平成30年5月1日現在の住民基本台帳登録人口（年齢別）に基づき社会増減を含めず記載

## 2 適正配置の検討経過

「鹿沼市小中学校適正配置等基本計画」の第1期実施プランが終了するが、児童数が、鹿沼市の適正規模を下回っており、今後も児童数の増加が見込めないため、第2期実施プラン期間内に、保護者及び地域関係者と意見を聴取する場を設定する予定。

## 3 適正配置の検討

児童数の減少が進み、複式学級となっており、鹿沼市の適正規模を下回っています。今後の児童数の推移を踏まえ、教育上の課題を整理したうえで、慎重な検討と地域との丁寧な対応を持ち、隣接校との統合の適否も含めた今後の在り方を検討します。

## 4 適正配置検討の理由

- ① 平成31年度児童数36人、学級数4（連続した学年ではなく、飛び学年で複式学級を編成する。）という状況であり、今後も複式学級の状況が継続するため
- ② 児童の教育条件の改善など、教育環境充実のため
- ③ 学校行事等に関する保護者の負担軽減のため
- ④ 学校運営に支障があるため

## 5 適正配置に関する進め方

### ○地元・学校（保護者含む）

- ・市教委主催の意見交換会への参加
- ・地域としての考え方の整理・集約

### ○市教委

- ・適正配置の検討をするための保護者及び地域住民への意見交換会開催
- ・児童数の将来予測等の情報提供
- ・隣接校への状況説明等情報共有

## 【 清洲第2小学校 】

## 1 校区の概要

清洲区は鹿沼市の南西部に位置し、自然に恵まれた農村地帯にあり、近くに思川が流れている。

本校の就学区域は、北半田であり、北半田の中新田地区に位置する。

(所在地：北半田1515番地)

近年は、児童数が年々減少し、複式学級が継続するようになり、小規模な小学校となっている。

## ○児童数及び学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H26 (2014)	児童数	8	10	10	17	11	15	71
	学級数	1	1	1	1	1	1	6
H27	児童数	7	8	10	10	17	11	63
	学級数	1	1	1	1	1	1	6
H28	児童数	9	6	8	10	10	17	60
	学級数	1		1	1	1	1	5
H29	児童数	2	9	6	8	10	9	44
	学級数	1	1		1	1	1	5
H30	児童数	9	2	9	6	8	10	44
	学級数	1		1		1	1	4
H31 (2019)	児童数	2	10	2	9	6	8	37
	学級数	1	1		1		1	4
H32	児童数	9	2	10	2	9	6	38
	学級数	1		1		1	1	4
H33	児童数	6	9	2	10	2	9	38
	学級数	1		1		1	1	4
H34	児童数	8	6	9	2	10	2	37
	学級数	1	1		1		1	4
H35	児童数	6	8	6	9	2	10	41
	学級数	1		1		1	1	4
H36 (2024)	児童数	6	6	8	6	9	2	37
	学級数	1	1		1		1	4

※平成30年度までは、各年度とも5月1日現在の実児童数及び学級数

※平成31年度以降は平成30年5月1日現在の住民基本台帳登録人口（年齢別）に基づき社会増減を含めず記載

## 2 適正配置の検討経過

「鹿沼市小中学校適正配置等基本計画」の第1期実施プランが終了するが、児童数が、鹿沼市の適正規模を下回っており、今後も児童数の増加が見込めないため、第2期実施プラン期間内に、保護者及び地域関係者と意見を聴取する場を設定する予定。

## 3 適正配置の検討

児童数の減少が進み、複式学級となっており、鹿沼市の適正規模を下回っています。今後の児童数の推移を踏まえ、教育上の課題を整理したうえで、慎重な検討と地域との丁寧な対応を持ち、隣接校との統合の適否も含めた今後の在り方を検討します。

## 4 適正配置検討の理由

- ① 平成31年度児童数37人、学級数4（連続した学年ではなく、飛び学年で複式学級を編成する。）という状況であり、今後も複式学級の状況が継続するため
- ② 児童の教育条件の改善など、教育環境充実のため
- ③ 学校行事等に関する保護者の負担軽減のため
- ④ 学校運営に支障があるため

## 5 適正配置に関する進め方

### ○地元・学校（保護者含む）

- ・市教委主催の意見交換会への参加
- ・地域としての考え方の整理・集約

### ○市教委

- ・適正配置の検討をするための保護者及び地域住民への意見交換会開催
- ・児童数の将来予測等の情報提供
- ・隣接校への状況説明等情報共有



## 【 大規模校解消の検討 】

### 1 現状

本市の適正規模の考え方を踏まえると、平成30年5月1日現在における大規模校は以下のとおり。

区分	学校名
小学校	東小学校（22）
中学校	東中学校（23）

※（ ）内は普通学級数

### 2 将来予測

#### 東小学校

東小学校については、下表のとおり児童数についてはほぼ横ばい状態が続き、学級数については若干ではあるが減少傾向で、適正規模をやや上回る状態が続くと予測される。

#### ○児童数及び学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H30 (2018)	児童数	122	99	130	140	111	127	730
	学級数	4	3	4	4	3	4	22
H31	児童数	144	122	99	130	140	118	753
	学級数	5	4	3	4	4	3	23
H32	児童数	128	144	122	99	130	140	763
	学級数	4	5	4	3	4	4	24
H33	児童数	132	128	144	122	99	130	755
	学級数	4	4	5	4	3	4	24
H34	児童数	141	132	128	144	122	99	766
	学級数	5	4	4	5	4	3	25
H35	児童数	137	141	132	128	144	122	804
	学級数	4	5	4	4	4	4	25
H36 (2024)	児童数	117	137	141	132	128	144	799
	学級数	4	4	5	4	4	4	25

※平成30年度は、各年度とも5月1日現在の実児童数及び学級数（特別支援を除く。）

※平成31年度以降は平成30年5月1日現在の住民基本台帳登録人口（年齢別）に基づき社会増減を含めず記載

## ① 東中学校

東中学校については、生徒数は平成32年度（2020）まではほぼ横ばいの状況で、学級数も23～24学級で同様であるが、平成33年度（2021）から35年度（2023）にかけて生徒数・学級数ともピークを迎え、その後再び若干減少したまま適正規模をやや上回る横ばい状態が続くものと予測される。

## ○生徒数及び学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	計
H30 (2018)	生徒数	230	268	247	745
	学級数	7	8	8	23
H31	生徒数	280	230	268	778
	学級数	8	7	8	23
H32	生徒数	277	280	230	787
	学級数	8	8	7	23
H33	生徒数	303	277	280	860
	学級数	9	8	8	25
H34	生徒数	289	303	277	869
	学級数	9	9	8	26
H35	生徒数	248	289	303	840
	学級数	8	9	9	26
H36 (2024)	生徒数	242	248	289	779
	学級数	7	8	9	24
H37	生徒数	290	242	248	780
	学級数	9	7	8	24
H38	生徒数	254	290	242	786
	学級数	8	9	7	24
H39	生徒数	244	254	290	788
	学級数	7	8	9	24
H40	生徒数	275	244	254	773
	学級数	8	7	8	23
H41	生徒数	268	275	244	787
	学級数	8	8	7	23
H42 (2030)	生徒数	232	268	275	775
	学級数	7	8	8	23

※平成30年度までは、各年度とも5月1日現在の実児童数及び学級数（特別支援を除く。）

※平成31年度以降は平成30年5月1日現在の住民基本台帳登録人口（年齢別）に基づき社会増減を含めず記載

### 検討スケジュール

大規模校の解消については、第1部 プランの概要の中で述べたとおり、児童・生徒数の将来予測や今後の社会情勢の変化など様々な要件を勘案するとともに、地域の将来的展望に立ち、新設もしくは学区の再編も含め、本計画期間内で検討していきます。



鹿沼市小中学校適正配置等基本計画 第2期実施プラン

鹿沼市教育委員会事務局 学校教育課

〒322-8601 栃木県鹿沼市今宮町 1688-1

TEL:0289-63-2239 / FAX:0289-63-2118

E-mail: kyoiku@city.kanuma.lg.jp

ホームページ <http://www.city.kanuma.tochigi.jp>